

# 平成30年度 Let's びぎんプロジェクト

## 最終報告書

プロジェクト名：遊休地活用プロジェクト-畑ラボ-

< 報告書必須記載事項 >

1. 構成員氏名・学部・学科（課程）・学年

No.	氏名	学部	学科課程	学年	備考 (役職担当等)
1	中村 佳祐	農	食料生産環境学科	3	代表
2	神尾 真大郎	農	共生環境課程	4	副代表
3	伊藤 成	農	共生環境課程	4	
4	佐藤 瑞穂	農	食料生産環境学科	3	
5	穂刈裕一	農	森林科学科	1	
6	二子石 大智	農	森林科学科	3	
7	今井 俊	人社	地域政策課程	2	
8	菅原 唯斗	人社	地域政策課程	2	

2. 活動目的

- ① 耕作放棄地の活用
- ② 農作物の生産・販売を身に着ける
- ③ 学生が“地域農業”と接する拠点づくり

の3点を目的とする。そのうえで、将来的には、大学・学生（学問）と農家・自治体（産業）との相互交流の拠点とし地域の課題に学生・大学が学問の観点からコミットできる場を目指す。また、地域の農業組織と連携を図り農業人材の輩出につなげていくことを目指す。

3. 活動の経過・内容

3-1 活動スケジュール表

3-2 活動内容詳細

3-2-1 栽培・販売

本プロジェクトで使用した遊休地が作物の栽培活動終了から 2,3 年が経っていることもあり、土地全体の草刈り・耕耘を栽培活動の実施の前段階として実施した。栽培の詳細としては、夏野菜 6 品目(ズッキーニ,ナス,ミニトマト,ピーマン,南蛮,オクラ)、冬野菜 5 品目(人参,水菜,はつか大根,ふゆ菜,ほうれん草)の栽培を行った。また、栽培期間は夏野菜が 5~8 月、

冬野菜が 9~12 月であった。栽培にあたっての管理は、週 1 回程度実施し草刈りを主に行った。

### 3-2-2 勉強会・研修

#### ○勉強会

「たきざわ 3 しょくプロジェクト<sup>1)</sup>」との共催イベントとして「iMA5 Lab#3 畑ラボ×たきざわ 3 しょくプロジェクト」の実施を 10/26 に行った。参加者は、12 名であった。内容は、滝沢市にける農業の現状と今後の在り方、畑ラボの活動紹介と関連した質疑応答について座談会形式で実施した。

[参考]

1) たきざわ 3 しょくプロジェクト HP <<https://3-color.jp/index.html>>

#### ○研修

盛岡いさり農園の山口さん(リンゴ)、駿河農園ベジスルの駿河さん(スイカ・サツマイモ)、早野商店の早野さん(フルーツほおづき)の 3 農家さんに受け入れていただき、作物の栽培方法や販売手法・経路等についてのレクチャーを受けた。

### 3-2-3 イベント

#### ○除草パーティー

種植えや草刈りなど栽培・管理作業の実施にあたり、サポートボランティアの募集を行った。8 回実施で累計 24 人の学生が作業に参加した。

### 3-2-4 その他

#### ○活動 PR

- ・ WildCup2018
- ・ 熱血!5 時間生テレビ
- ・ 河北新報
- ・ クラウドファンディング(いしわり)

「畑ラボ」プロジェクトの PR を目的に各種イベントへの出演、メディアからの取材、資金調達を実施した。

#### ○情報発信

Twitter、Facebook による活動情報の発信を行った。

#### ○他農業団体との交流

- ・ アグリッチプロジェクト (横浜国立大)
- ・ 畑でソトメシ (花巻市)
- ・ 雫石ホップチャレンジ (雫石町)
- ・ 遠野ホップ収穫祭 (遠野市)

の4つの団体において実施されているイベントへの参加、情報共有を行った。

#### 4. 結果報告

活動目的において以下の3点を設定していた。

- ① 耕作放棄地の活用
- ② 農作物の生産・販売を身に着ける
- ③ 学生が“地域農業”と接する拠点づくり

上記記載目的①, ③達成のため

##### ・近隣農家と連携して作物の栽培～販売を実施

栽培活動として、夏野菜6品目、冬野菜5品目の栽培を実施した。夏野菜は一定量の収量を確保できたが、冬野菜は栽培開始時期が遅れてしまい十分な収量を確保することが出来なかった。

販売方法としては、滝沢市役所農林課竹鼻様のご協力頂き、滝沢朝市、ビックルーフ滝沢での店頭販売、その他産業まつり等各種イベントでの販売を計画してきたが、当初販売を予定していた冬野菜の収量がいまいちであったため販売までもっていくことが出来なかった。

また、栽培にあたっては、近隣農家さんに栽培方法の指導を頂くことを検討していたが、研修にて受け入れていただいた農家さんの栽培作物と実際に栽培した作物とが異なっていたため指導を頂くことが出来なかった。しかし、プロジェクトにて使用している畑の所在地区での多面的整備事業に参加するなど近隣農家さんとのつながりを作ることが出来た。

##### ・近隣住民、農業者、学生を巻き込んだイベント実施

「たきざわ3しょくプロジェクト<sup>1)</sup>」との共催イベントとして「iMA5 Lab#3 畑ラボ×たきざわ3しょくプロジェクト」を実施することが出来た。このイベントの実施によって広く地域の方に自分たちが取り組んでいるプロジェクトについて知って頂くきっかけになったと考えている。

「除草パーティー」では、種植えや草刈りなど栽培・管理作業の実施にあたり、サポートボランティアの募集を行い多くの学生に参加してもらうことが出来た。この栽培活動体験がきっかけとなり少しでも農業に関心をもってもらえたのではないかと思う。

上記記載目的②達成のため

##### ・近隣農家さんの元で年間を通じて農業研修

盛岡いさり農園の山口さん(リンゴ)、駿河農園ベジスルの駿河さん(スイカ・サツマイモ)、早野商店の早野さん(フルーツほおづき)の3農家さんに受け入れていただいた。しかし、通年での受け入れはスケジュール的な問題で実現できなかった。

## 5. 今後の活動予定

本年度目標に掲げていた3目標のうち「①耕作放棄地の活用」「③学生が“地域農業”と接する拠点づくり」は一定程度達成できたが、「②農作物の生産・販売を身に着ける」は一部の達成となった。したがって、来年度は本年度の活動において未達成であった部分「農作物の販売」に重点的に力を入れて活動を行っていきたいと思う。

また、活動の持続可能性の実現にあたっては、資金の安定的な確保が必要不可欠と考える。したがって、先述の「農作物の販売」を行いつつ、ただ、販売するだけでなく付加価値をつけるなどしっかりと利益を上げられるような仕組みを構築していくことを目標とする。

## 6. 活動写真



畑



研修風景①(駿河ベジスル)





研修風景②(早野商店)



収穫作物



イベント -除草パーティー-



WildCup2018